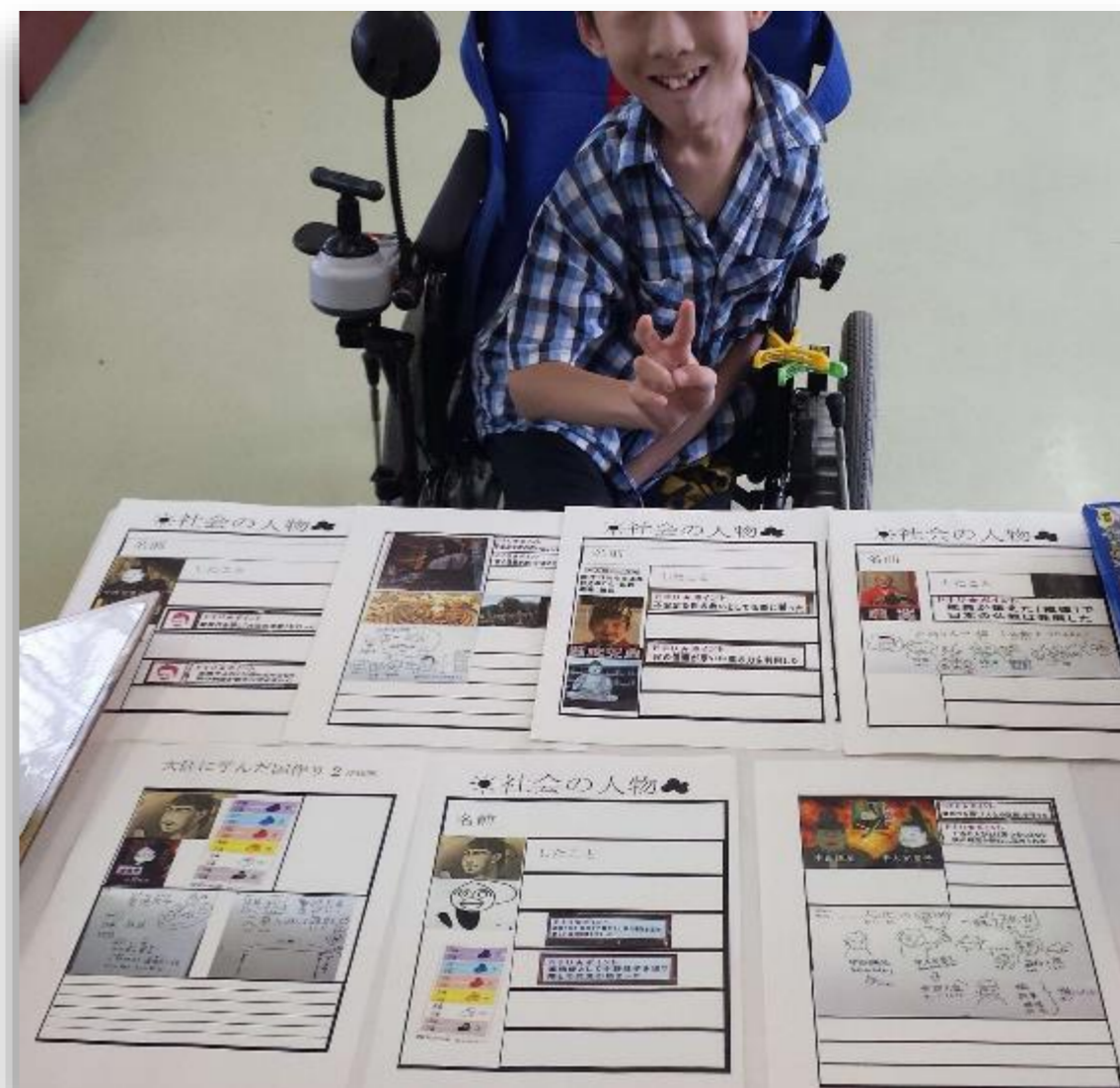


# 生活・学習において自分の必要感に応じた 方法で活用を進める取り組み



大分県立別府支援学校 岡本 崇

# H26年度の実践



Aくん

- 中学部1年生 男子 知的障がい
- 家庭での生活リズムが確立できておらず、  
体調不良で頻繁に欠席する
- 教室内でできるようになっていることでも、  
実際の場面で活用することは難しい
- 乳製品の食物アレルギーがあるが、意識は  
できていない

☆「家庭での生活リズムが確立できておらず、  
体調不良で頻繁に欠席する」こと背景



- ・小6までの前籍校では不登校で、ほとんど登校できていない(友人関係に起因)
- ・母親と2人暮らし。母親が半日の通院を週3回行っており、その日は家事が難しい
- ・スクールバスに乗り遅れたことを主要因に、ささいな原因(朝起きれないなど)で欠席する

☆「教室内でできるようになっていることでも、  
実際の場面で活用することは難しい」背景



- ・校内の学習では、金銭の扱い（等価関係など）や買い物の手順などは理解できている
- ・公共交通機関の利用、買い物など、社会生活上必要な力が身につけていない（実体験の不足）
- ・自力での移動は自宅100m圏内で5分程度まで（「外はこわい」と言う）

なるべく早く身につけ、定着する必要性



Aくん

## 買い物

- 母親の体調が悪い時に手助けになる
- 緊急時の食料確保ができる

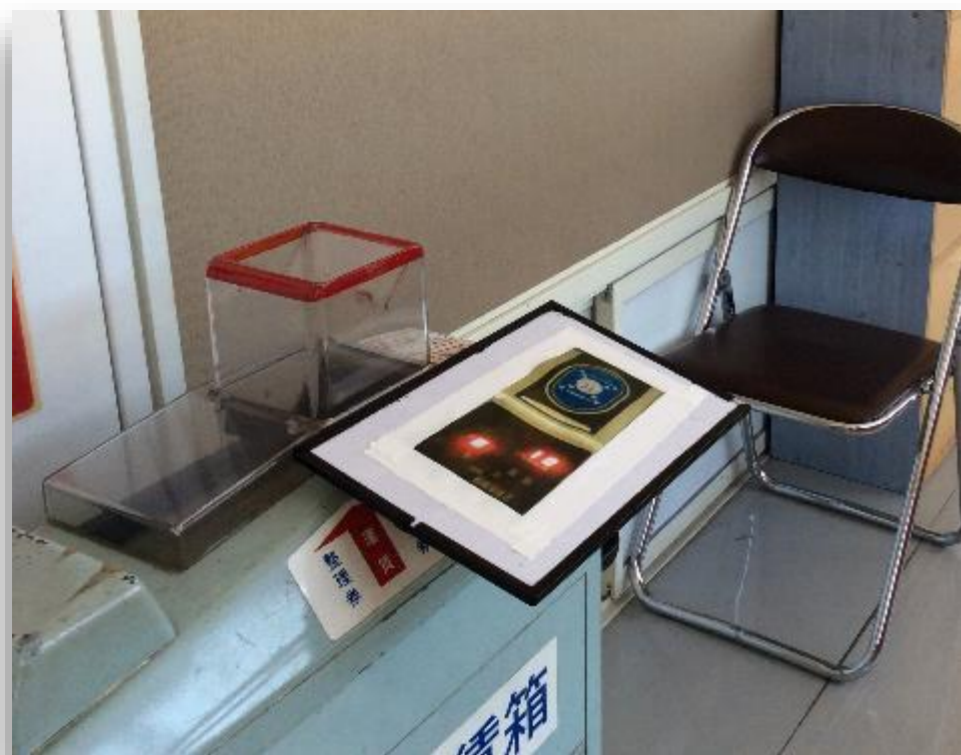
## 自力移動

- 移動手段の確保、行動範囲の拡大
- 登校回数が増加の可能性

## 自律的な生活

- 生活習慣の確立
- 登校回数が増加の可能性

# ①移動手段の確保：バスの乗り方を身につける



まずは校内での  
シミュレーションで  
ハードルを下げる



「たとえ乗り遅れてもバスに乗れる」を理解



行き先表示に従えば、必ず行けることを体験



自分の意思で移動できることを実感

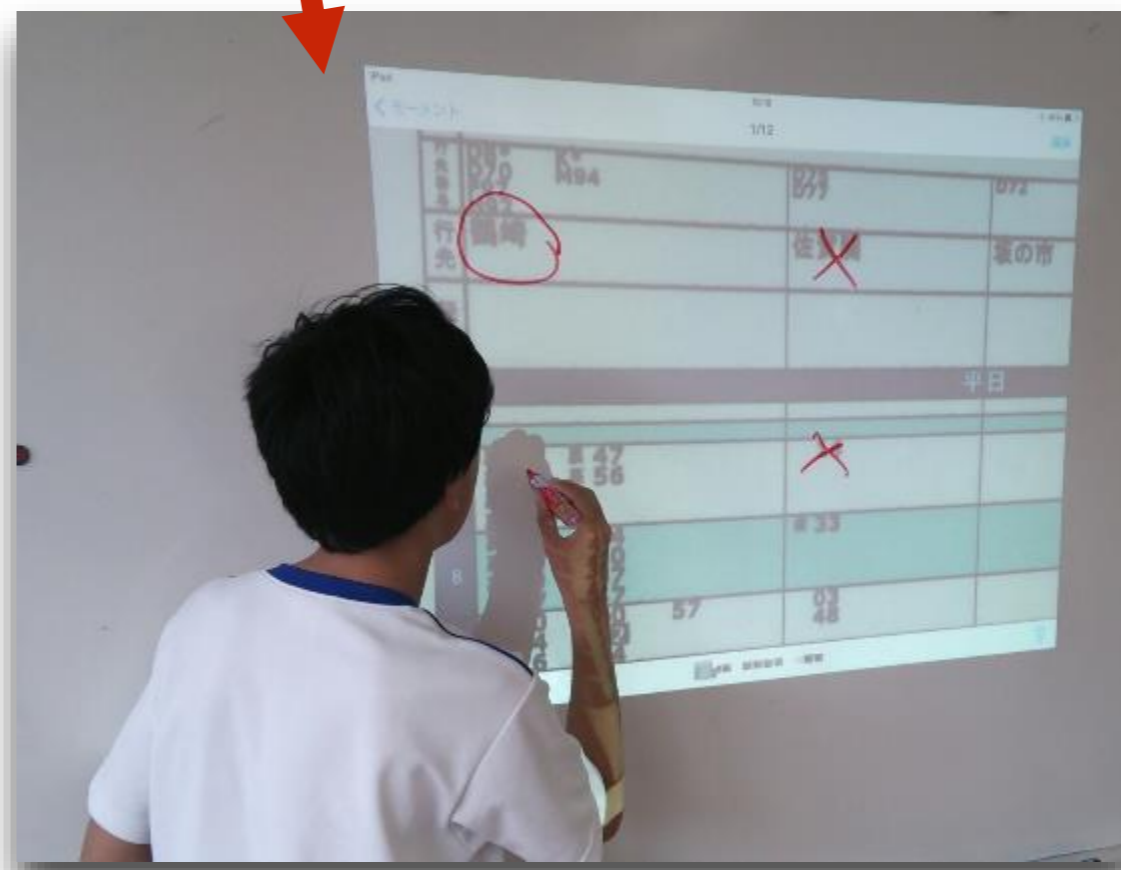




自分で動画を撮影し…



ホワイトボードに画像を投影し、直接メモを書き込む



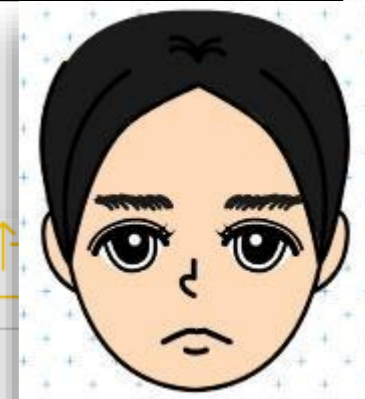
※事前に教師が撮影許可を取っています

## ②生活習慣の確立：時間の管理と意識づけ



TimeStamp+

タップするだけでログを取れる  
(かんたん、活動の開始を意識)



一目で行動の時間がわかり、一覧性がよい



就寝時刻と起床時刻(体調)の因果関係を理解



# 忘れない工夫(自分なりの仕方)



「ログを取り忘れないようにリマインダー」  
→意味がない…(ヤラセになる?)  
どうすればよいか考えるように促すと…



iPhone本体にメモを貼る、という工夫を自ら行う



結果として「生活習慣」の意識の向上

③アレルギーの対応：  
アレルゲン物質を「食べない」指導



アレルギーチェッカー

日々の生活では、まずは  
危険なものを食べない  
(買わない)ことが大切



例えば、家庭科のサンドウィッチ作りでは…

世の中の食パンのほとんどに乳製品が含まれる  
→食べられないものは食べないのが「生活」



名 称	食パン
原材料名	小麦粉、砂糖、マーガリン、クリーム、発酵風味料、はちみつ、食塩、脱脂粉乳、小麦たん白、パン酵母、麦芽エキス、(原材料の一部に大豆を含む)
内 容 量	2枚
消費期限	表面に記載

使用しているアレルギー物質						
卵	乳	小麦	えび	かに	そば	落花生
—	●	●	—	—	—	—

「●」は使用しています。「—」は不使用。  
その他のアレルギー物質は別途記載。  
お買い上げのたびに表示をご覧ください。

食べられるものだけを与えるのは  
「ヤラセ」!

※経験・体験の機会確保は別途配慮



自分で「食べられる物」だけを選んで調理(購入)するように





# 「いつでも」使えるように： 動画メモと動画マニュアル



My Photo HD

自分なりの「メモ」として  
活用



必要に応じて撮影、  
分類してフォルダ分け



# 仕方が難しい・機会が少ない場合は動画…



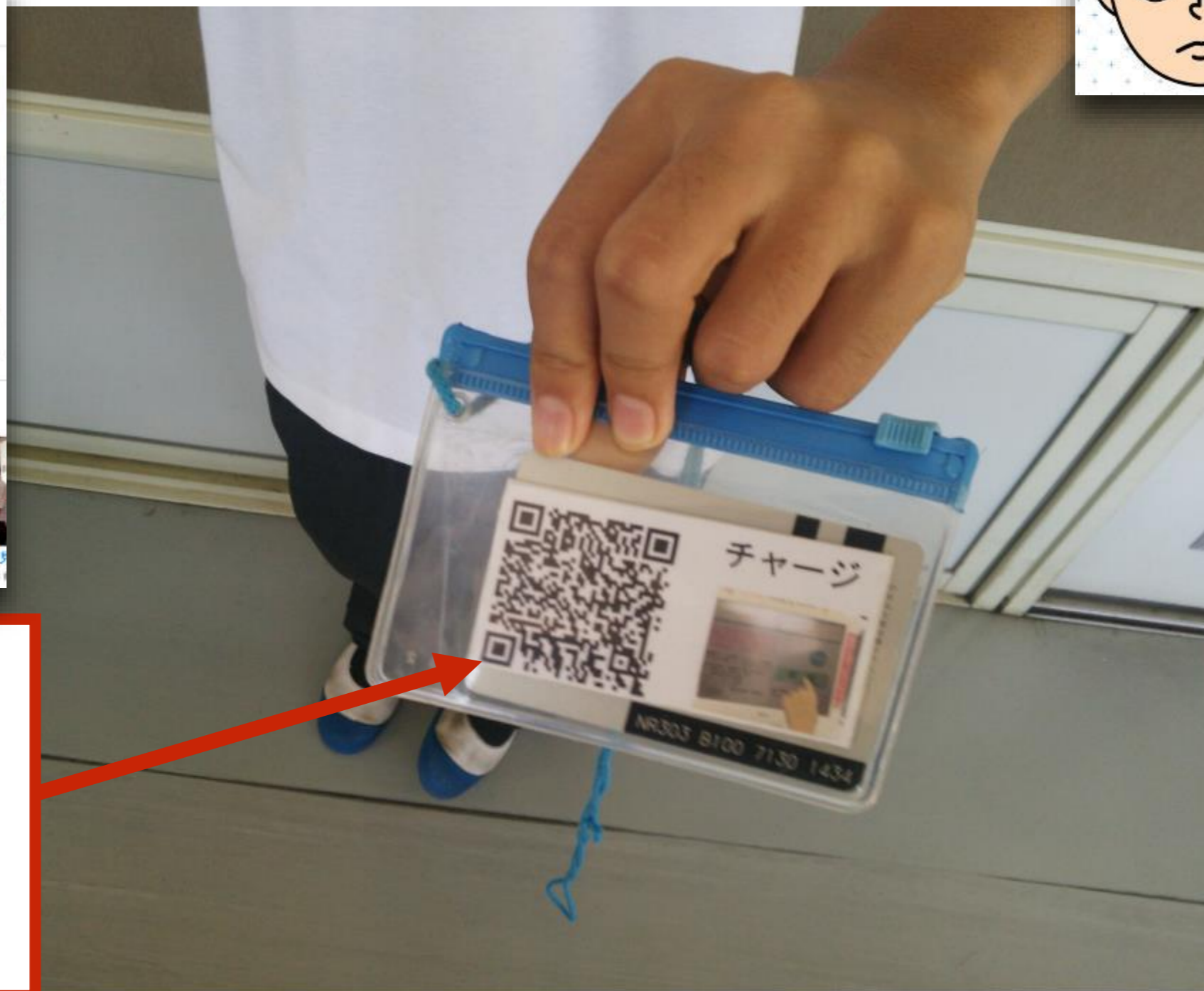
大分県立大分支援学校チャンネル ～元気 やる気 根気～



教育企画部



本人だけに  
限定公開  
(今後につなげる)



教師がYouTubeチャンネルでQRコード化  
→必要に応じて見返して活用

# Aくんの動画(画像)コンテンツの使い分け



## 「主観的」視点

- 本人の視点(主観的視点)で撮影
- 本人が撮影、アプリで管理する
- メモ(備忘録)の役割

## 「客観的」視点

- 他人の視点(客観的視点)で撮影
- 教師が撮影、ネットで視聴する
- 教材としての役割(必要に応じて)

それぞれの役割で使い分ける

# 信頼できる友だち関係の形成： 自然な関わりから、信頼を学ぶ



## 登校の仕方から スマホの使い方へ



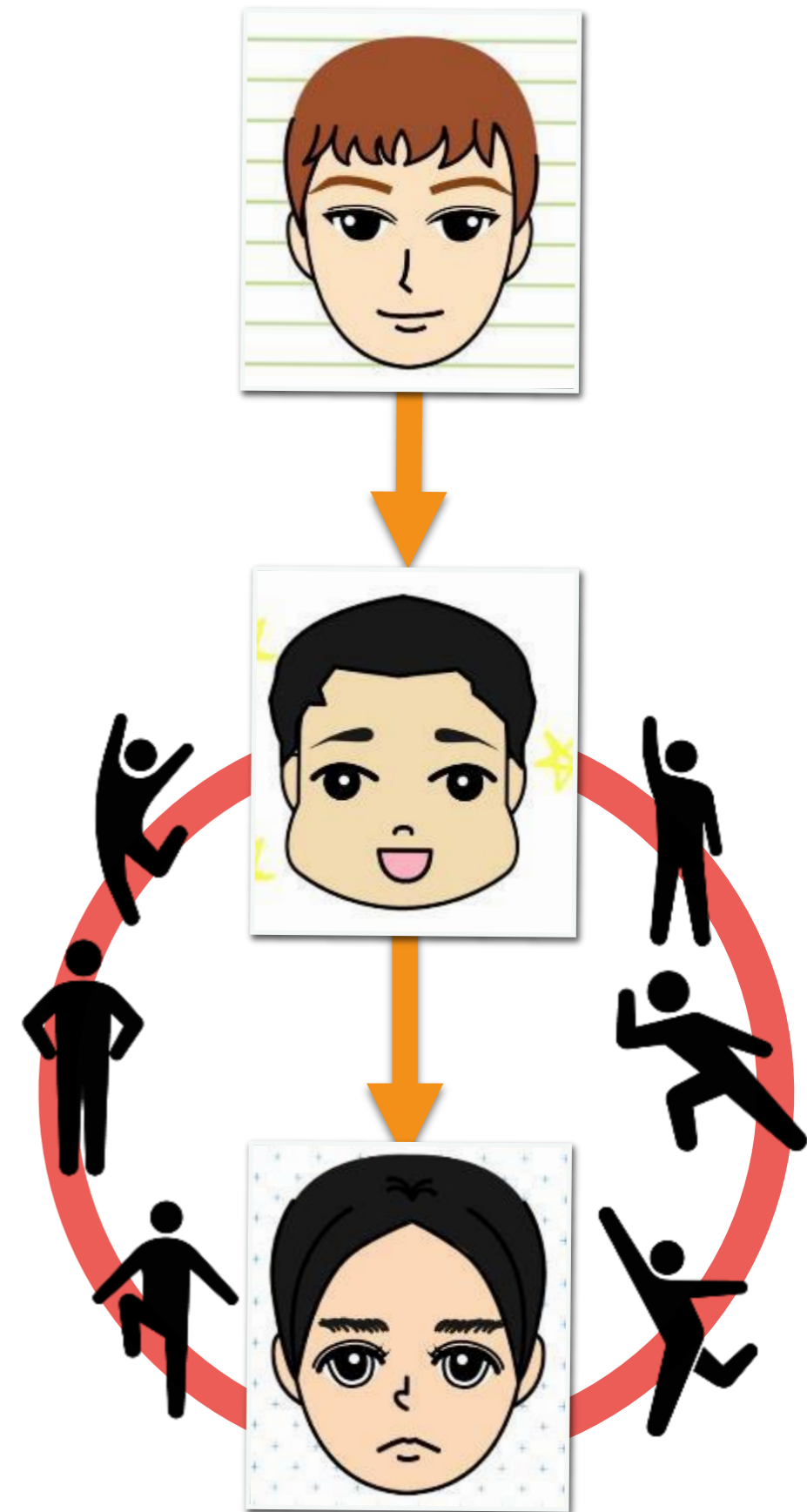
同じ路線バスのE先輩が進んで教えてくれる  
→実は、彼も友だちから教わっていた



教えと関わりの連鎖、コミュニティの形成  
がごく自然な形で



自然な関わりから、信頼を学ぶ経験



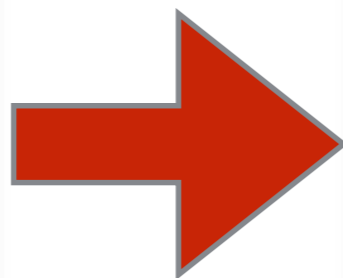


# その他の変化:「書く」ことへの意識の変遷

書くのはいやだな...



入学当初

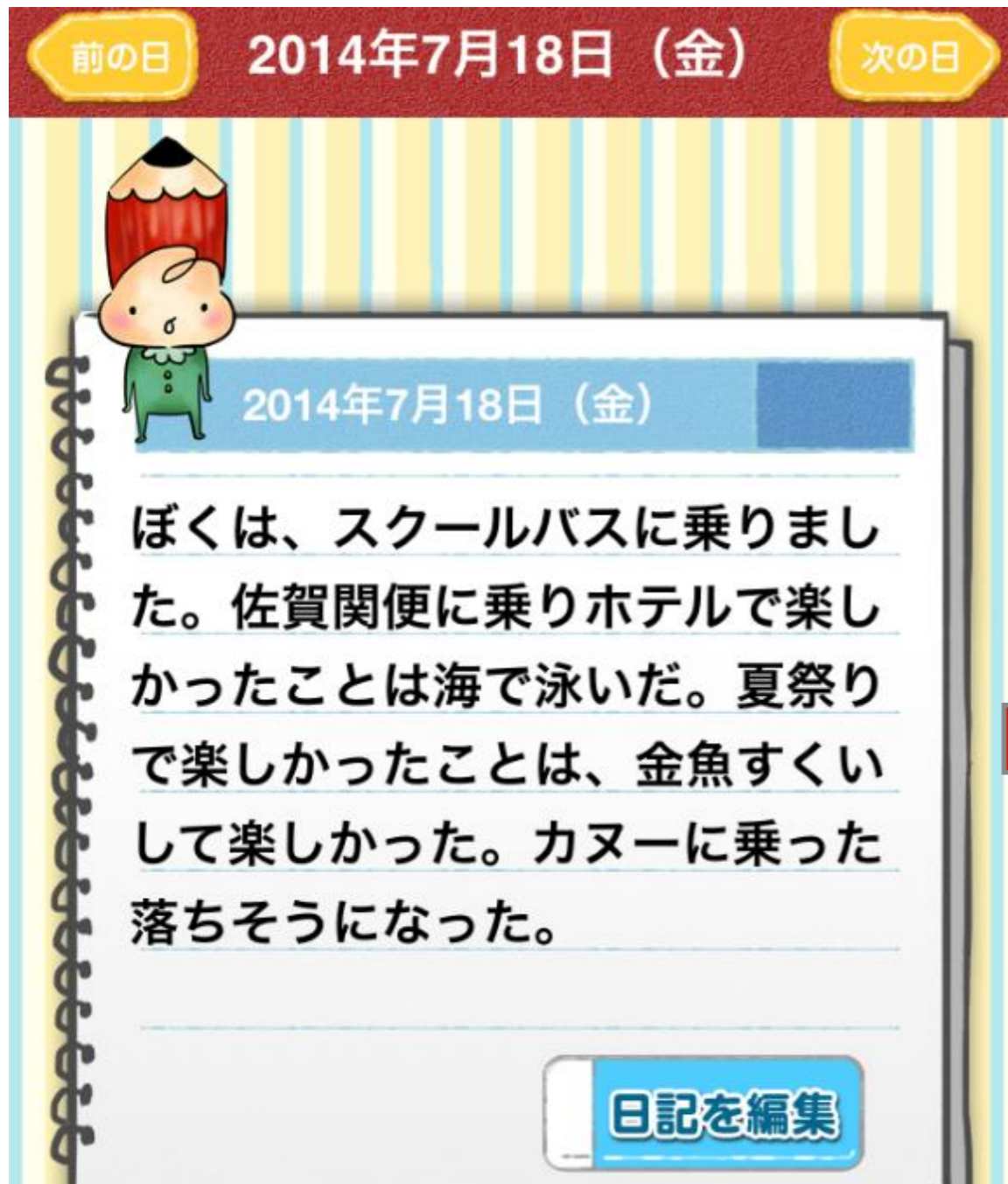


1学期の学習を通じて

これなら  
書ける!

※はじめは「書く」ことへの抵抗感(これまでの経験から)があったが、iPadなら表現できるようになった

# 「書く」ことへの意識の変遷



7月(「こびと日記」利用)



11月(「メモ」利用)

※特別なアプリで興味を引かなくても、書くこと自体が楽しみ

# その他の変化:「書く」ことへの意識の変遷

9月初旬(30文字程度)

9月11日 木曜日  
たいいいくがんで  
はっしりしました。  
たいそうきました。  
10分かん

11月初旬(250文字程度)

志村祭の思い出  
中一年  
ぼくはステージ発表でよっかいウオツチ  
をしました。ゲラゲラポーをしました。さ  
いごにダンダンドウビズバーをしましたとて  
も楽しかったです。チヤレンジステージであ  
たりまえたいそうをしました。そうまくんと  
じヤトきんとかずきんとかりました。み  
んながあらっこくれましたレオキョクでとら  
じょうしました。とんでとらじょうしました。  
きよくがおあたらおどるひヤンびをしました。  
あたりまえたいそうをしてみんなをおらあか  
せしました。たいじょうはにゲダンスをして  
たいじょうしました。

書いてみよう



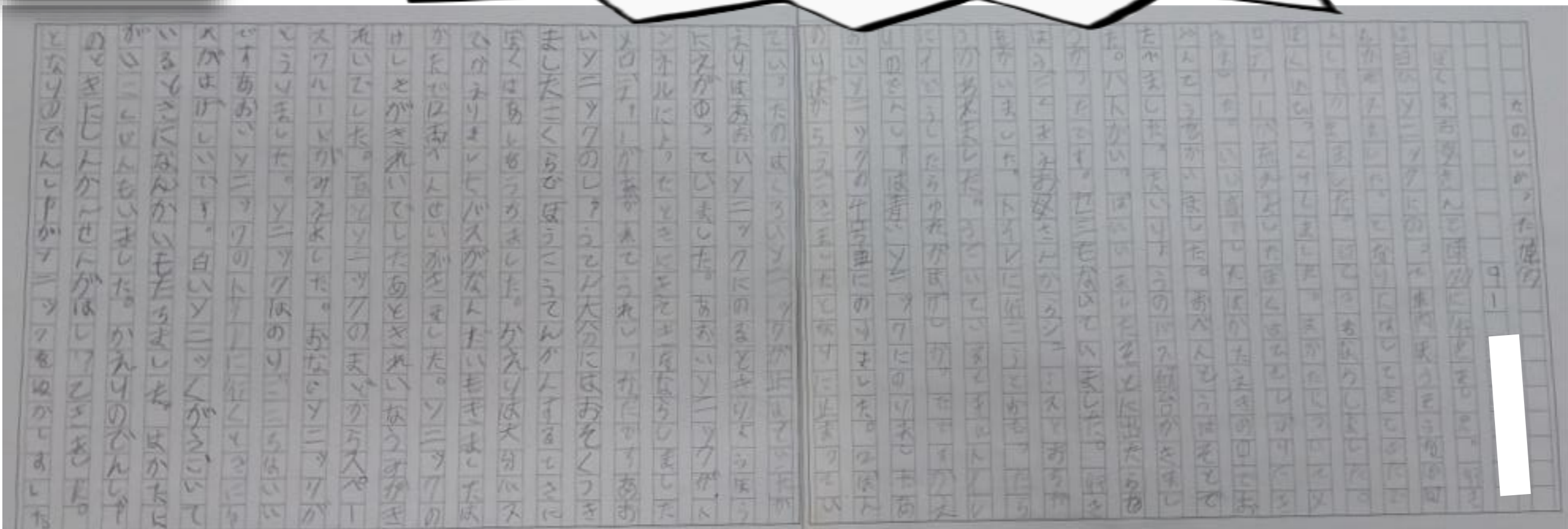
※iPadで抵抗感が薄れ、自ら手書きをする

## その他の変化:「書く」ことへの意識の変遷

12月中旬(800文字程度)



旅行に行ったので日記を書いてきました！



※短期間で変化したのは「彼が本来持つ力」だから  
→適切に機会が与えられることで発揮できることがあるはず

# H26年度末の到達状況



## 買い物

- ・母親に促されて買い物に行くようになった
- ・買い物とチャージでそれぞれの店を変える

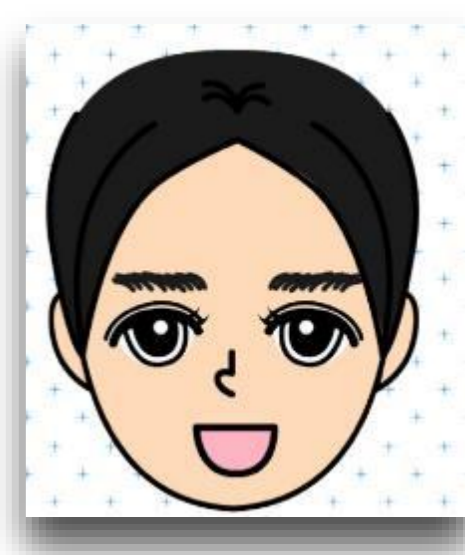
## 自力移動

- ・毎日、ほぼ問題なくバス通学
- ・E先輩がいない時も一人で乗車・下車

## 自律的な生活

- ・出席率の増加(他の要因での欠席はある)
- ・進級後の生活習慣の安定化が課題

あれから4ヶ月…現在の状況



## 自力移動・社会生活について

- ・引越しによって変化した環境に対応し、徒歩で登校
- ・今回の取り組みがきっかけで再受診し、アレルギー指定が解除された
- ・仲のよい先輩が高等部に進学したが、同級生とも親しく活動できている

## 自律的な生活の確立

- ・欠席日数が減少(体調不良時のみ)
- ・関係諸機関との連携(緊急時の依存先の増加)

# H27年度、別府支援学校(本校)に転勤しました

肢体不自由教育及び病弱教育を実施する学校



## 小学部6年生 Tくん

- ・小学校の教育課程に準ずる教育課程
- ・関節が固定し、腕(特に左腕)の可動域が狭い
- ・電動車椅子を使用(短距離の歩行は可能)

# H27年度の実践



Tくん

【まずは、新たな視点での見直し】

- ①「肢体不自由」の視点
- ②「教科指導」の視点
- ③「情報の入出力」の視点

と、考えて実践を進めていたのですが…  
反省すべきポイントが出てきました。

- ・「与えられる一方」になりがちな支援…？
- ・実態に拠らない「指導の画一化」…？



# 「与えられる一方」になりがち…？

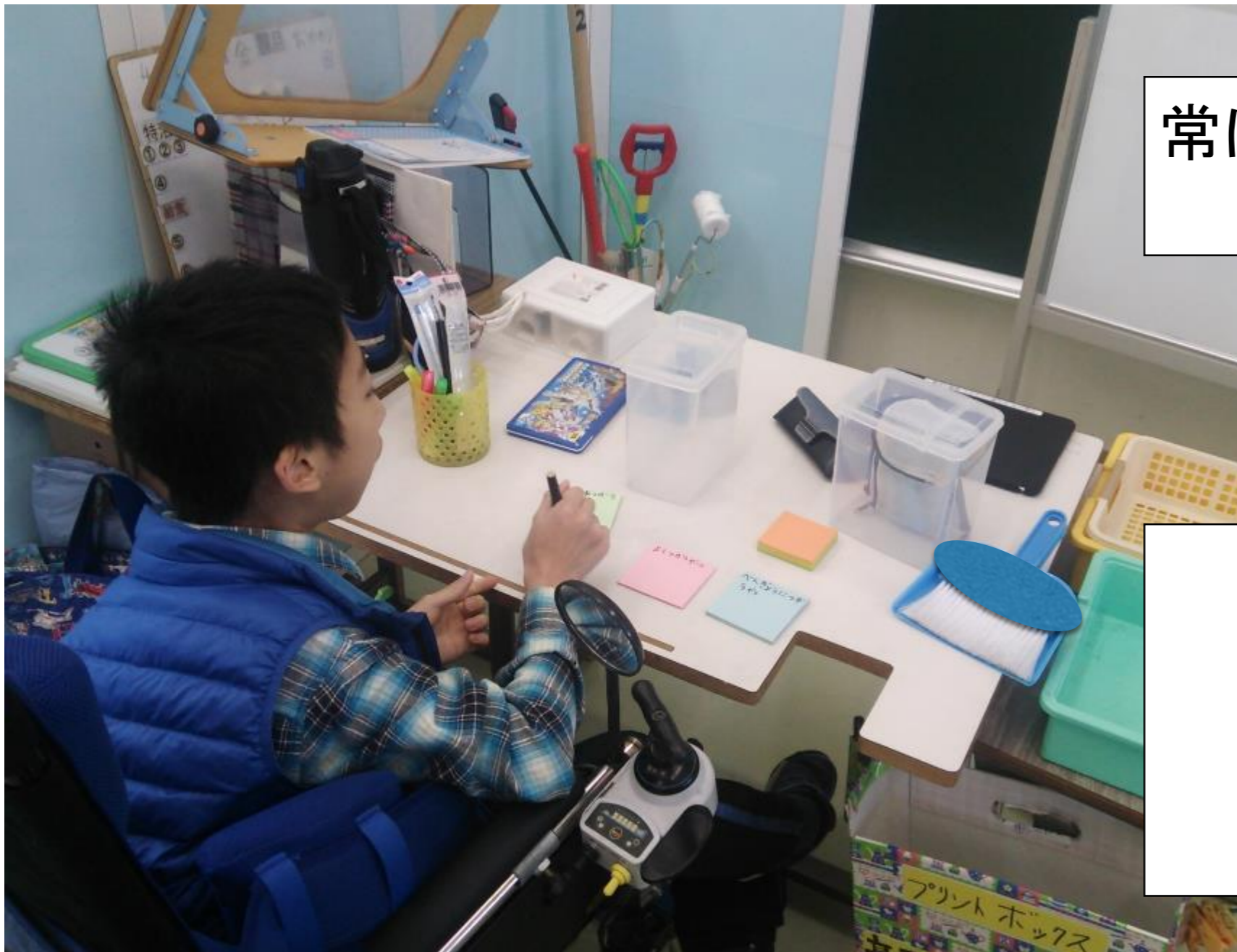


「与えられた支援」であふれ返る状況

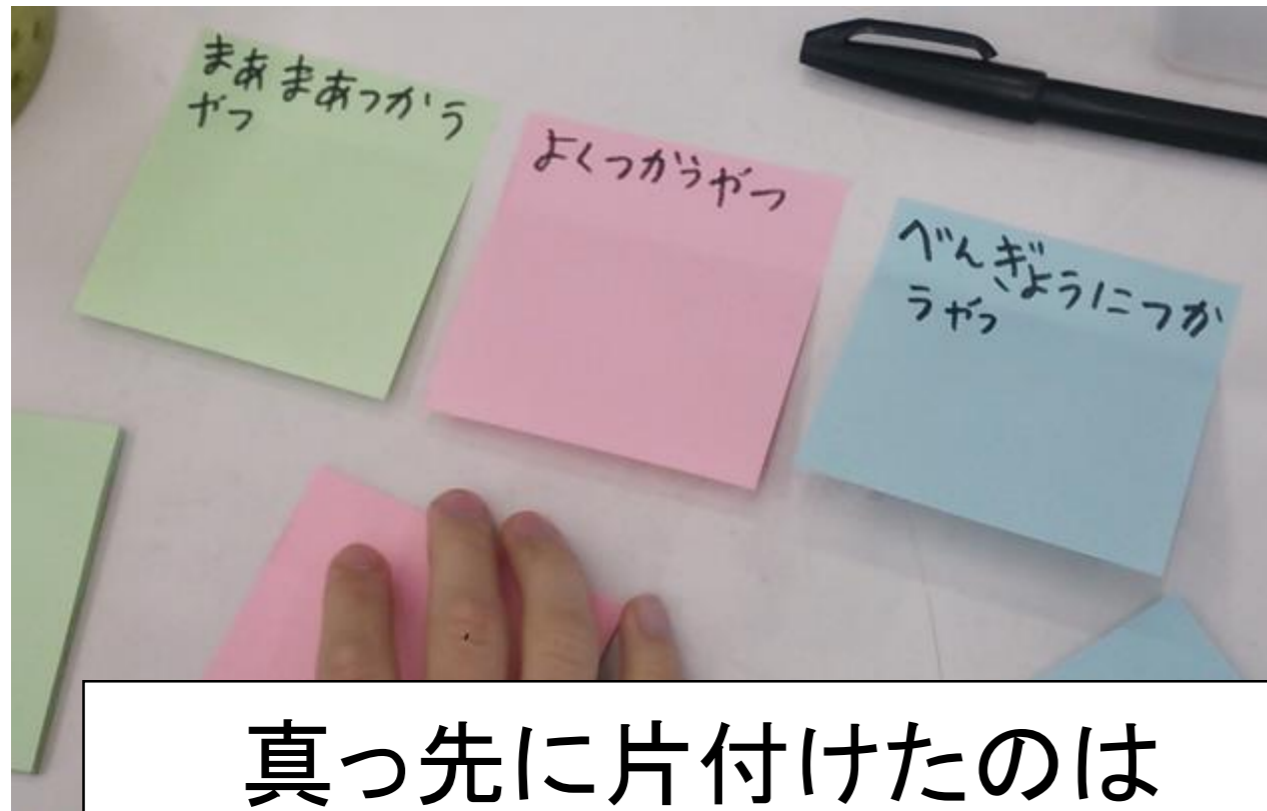
常に、何も困りがない状況に  
なっている



「必要なこと」「困り」に  
自ら気づき、発信する  
機会を奪っている  
可能性…



# 必要感に応じた「環境の整理」の経験



本当に必要か  
整理してみよう

真っ先に片付けたのは  
「与えられた」書見台

何年も前に与えられ、実態の変化  
で現在は必要なくなっていた

本人も教師も、「当然」と考え  
検討していなかった(反省)



# 自ら「環境を作る」経験



写真で客観的に見直し…



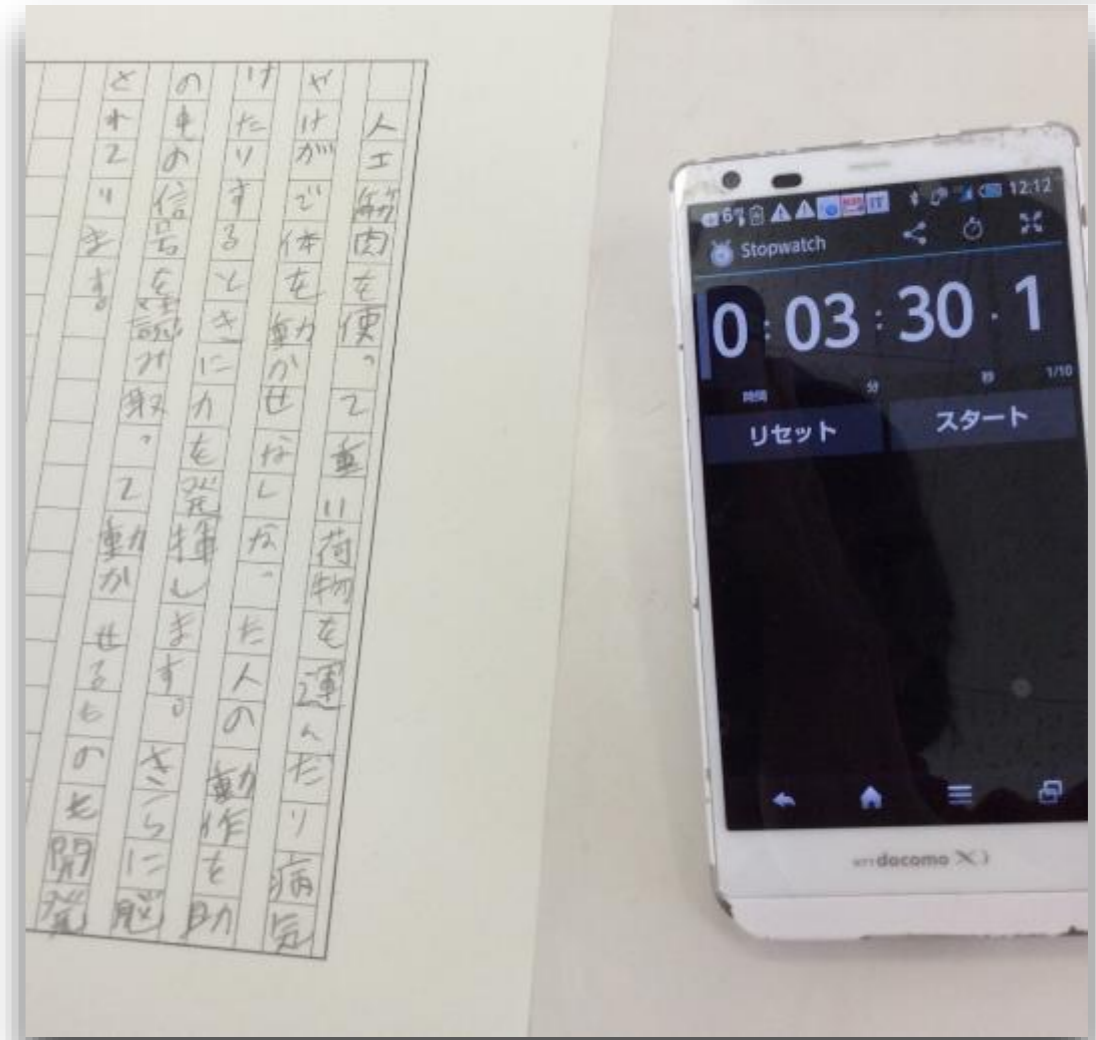
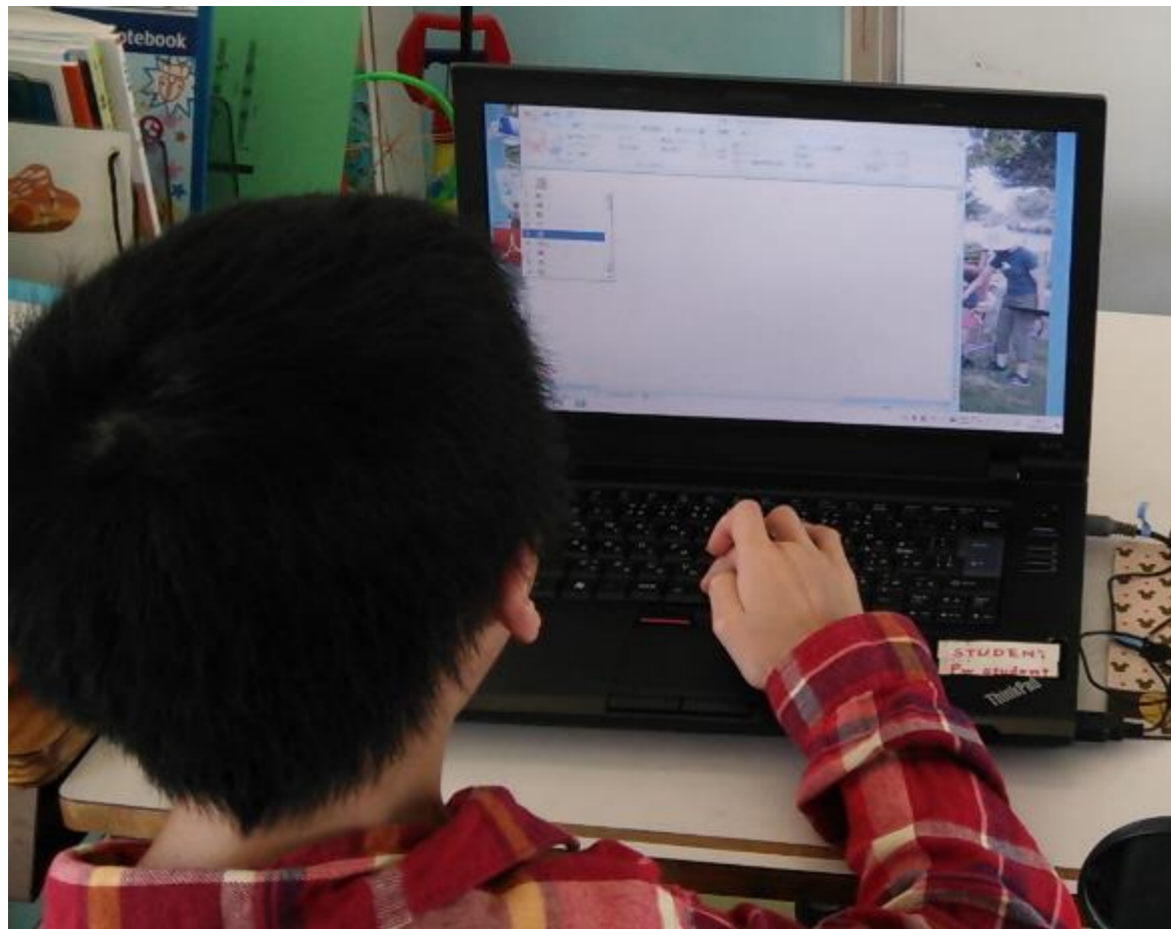
自分の身体の動きに合わせて、  
使いやすい配置・動線

この経験によって、「環境は自分で作ることができる」  
(物理的に難しい場合は依頼する)意識の高まりにつながった

# 徐々に自分の「必要感」が明確に



もっとかんたんにノートをとったり教科書をめくったりできないかな…？



※それぞれの出力方法を試した結果、手書きが最も早いことが判明。ということ。ただし、100文字を超えると疲れる、文字が乱れて読みにくくなる

# 検討の結果、本人が気付いたこと



## 【教科書・辞書について】

- ・基本的には紙媒体の方が好き
- ・国語辞典はアプリの方が扱いやすい
- ・教科書は、ページをめくる回数が多いものはPDF化した方が扱いやすい(国語)

## 【ノートテイクについて】

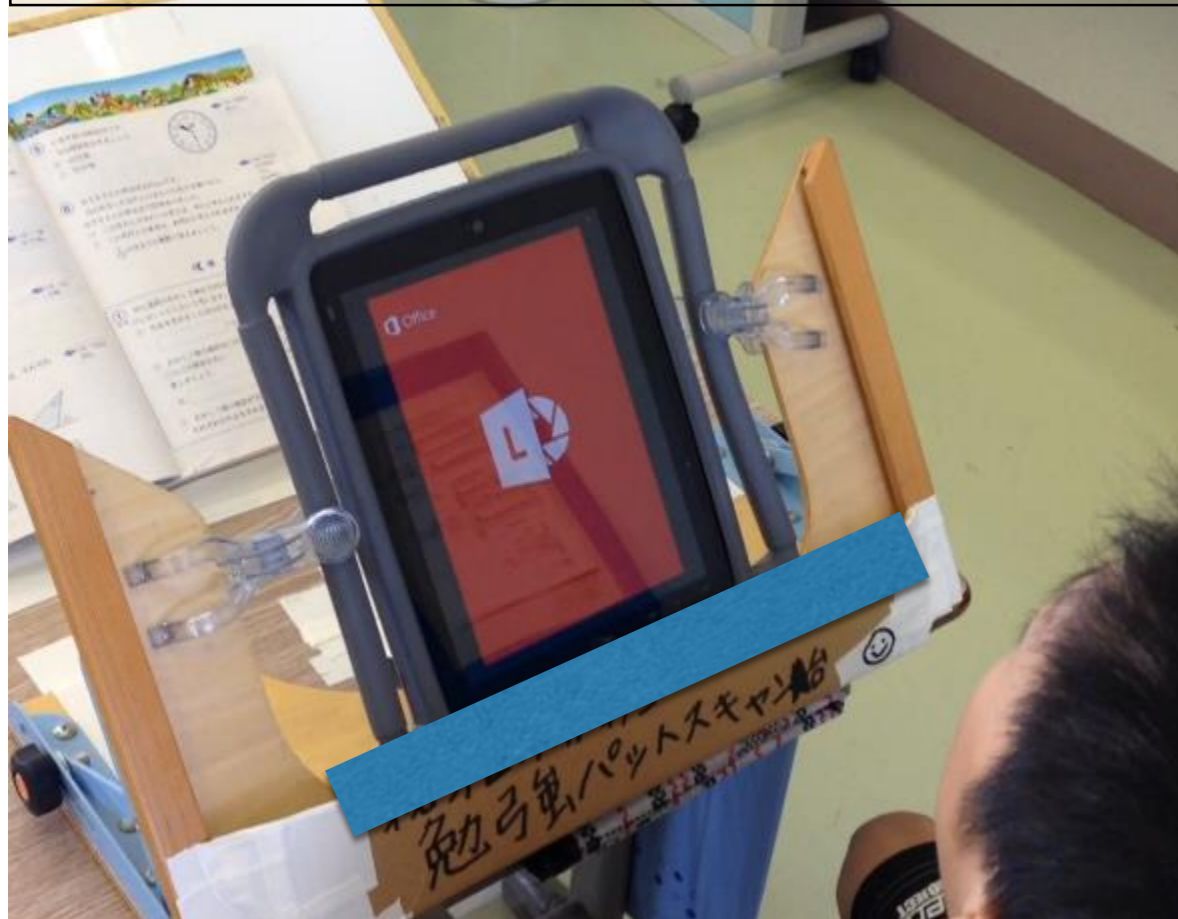
- ・基本的には手書きの方が好き。ワーク類は手書きでいたい
- ・板書でポイントを明示している場合、文字数が少ない場合は手書きが適している(算数・理科)
  - ・全体像をつかむ必要がある板書は写真で撮影した方が適している(社会・国語)
- ・自分で板書や教科書の挿し絵などをスキャンしてデータでまとめて、印刷したものにポイントを書き込みたい(社会)

※このような「視点」を本人が持つことで、将来的に自分に必要な支援を(教科ごとに)依頼することができるようになる可能性

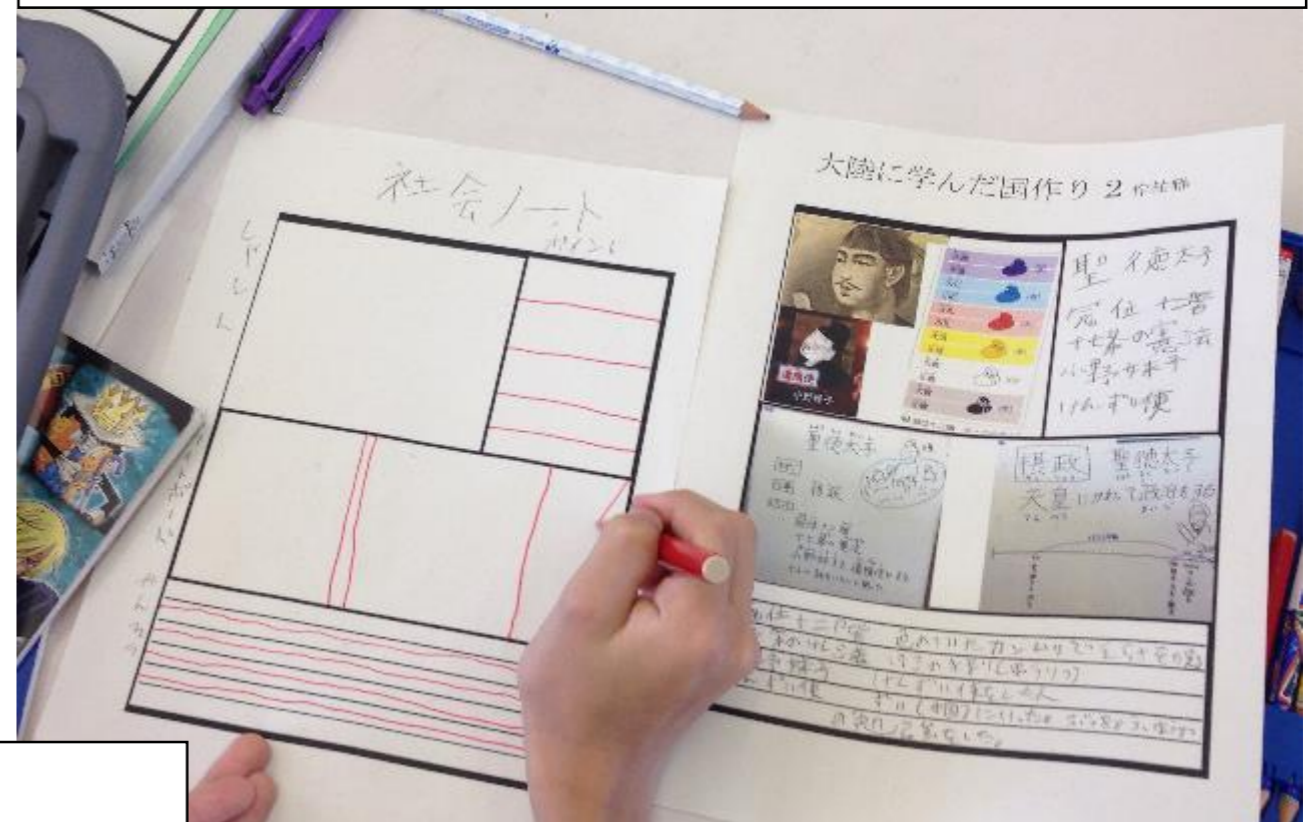
# 試行錯誤のノートのテンプレート作り①



教科書をスキャンする台を自分で作り…



使いやすいレイアウトも自分で検討し…



【使いやすいノートとして本人が考えた要件】

- ・板書の写真を貼るスペース
- ・教科書の挿し絵や動画教材のスクリーンショットを貼るスペース
- ・印刷してポイントを手書きするスペース



Office lens



Word

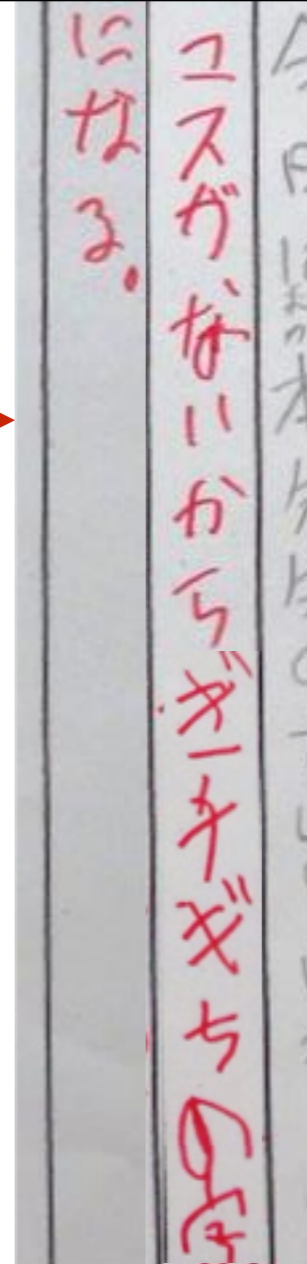
# 試行錯誤のノートのテンプレート作り②



書きやすい文字サイズを検討…



行間・マス目の有無による書きやすさを検討…

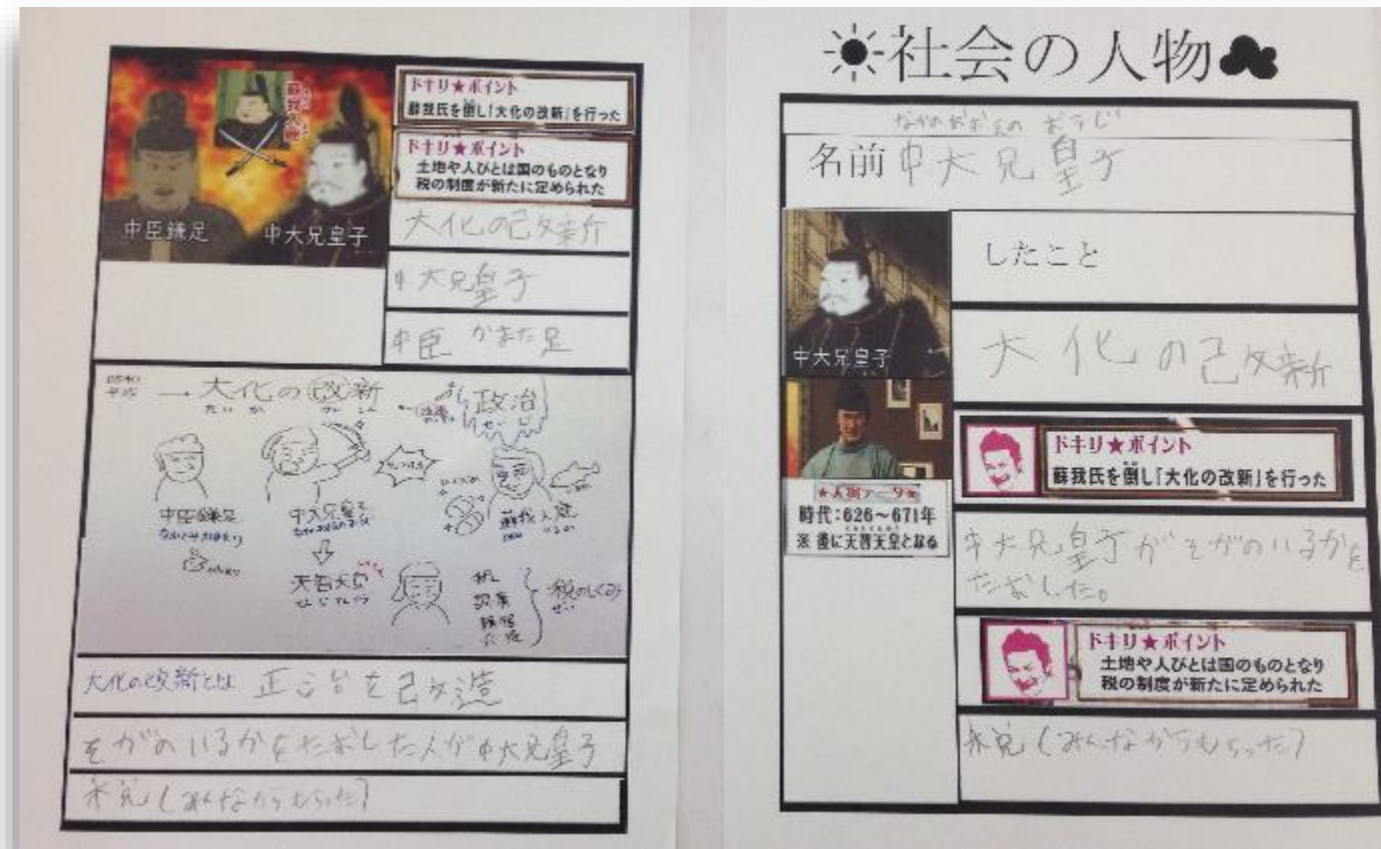
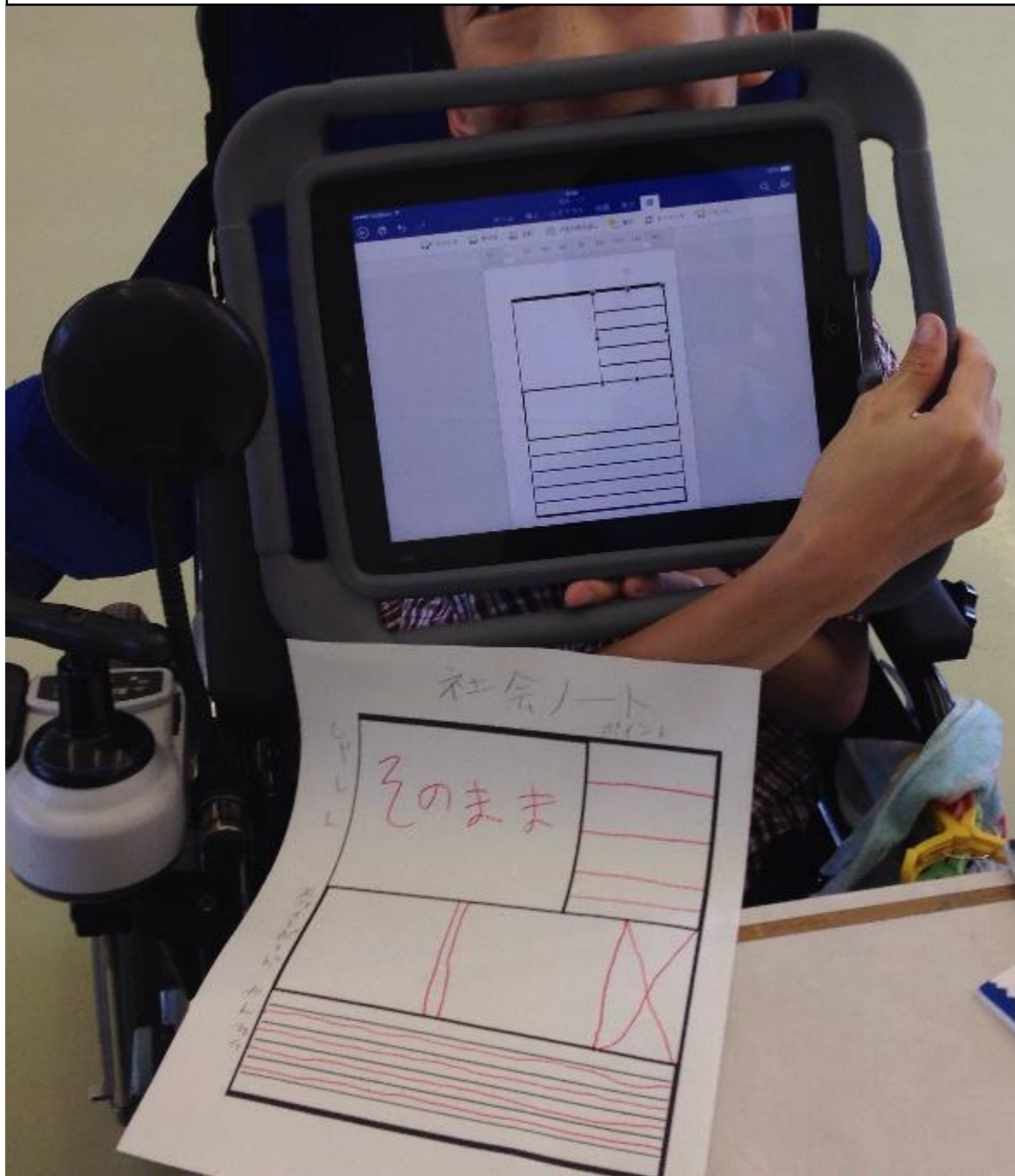


※実際に試すことで、「書きやすい」「字がきれいになる」「疲れにくい」などの視点に気づき、算数など他教科の市販ノートを購入する際にも役立った

# 試行錯誤のノートのテンプレート作り③



ついに完成！



授業中に撮影したりスクリーンショットを撮ったりしたものを貼り付け、印刷して家庭に持ち帰り、宿題として活用



# まとめと今後の課題



## まとめ

- ・教師が「手を出しすぎない」ことで、必要感を持つ
- ・「機器ありき」ではなく、必要感に応じた活用を
- ・必要感を持って行ったことは他の場面にも般化

## 今後の課題

- ・学年に応じた学力の保証
- ・生活経験の充実
- ・地域間交流の取り組み
- ・中学部への進学に向けて

必要感に応じて  
機器の活用を検討